



野比中だより

絆 きずな  
—響き合いを大切に—

横須賀市立野比中学校

〒239-0841

横須賀市野比4-4-1

tel:046-849-3318

Fax:046-849-3791

## とびっきりの笑顔



やった!

9月28日、NOBILYMPIC2023 が行われました。天候がやや不順であった中、どのカラーも(今年から赤群、青群、黄群と呼ぶようになりましたね。)生徒が中心となって計画を立て、練習に取り組みました。

そうした様子を見てきていたので、当日の私のあいさつは「みなさんのとびっきりの笑



新種目 野比の宅急便

顔を期待しています。」と締めくくりました。

常々考えていることなのですが、私たちにとって友だちの「笑顔」は一体何を表しているのだろうということです。授業中の「笑顔」、廊下や通学路での友だちとの会話で見られる「笑顔」……。それぞれのシチュエーション



大縄跳び クラスの力を結集によって意味は変わってくると思うのですが、NOBILYMPIC のような大きな行事での「笑顔」は、みなさんのやる気、期待感、達成感、充実感……。最後には「行事をやり切った」という感覚があるからこそみられる表情なのだと思います。



力を出し切る!

生徒会種目の提案や、3年生を中心としたダンスの取り組みを考えると、夏休み前から動いていたこの企画。「やり切った」という思いがみなさんにしっかりと残っていることを願っています。



フィニッシュ!!

## 優しくするのに理由なんてない

先日、昼休みに浦島先生に用事があって、保健室を訪れました。その時、保健室に来ていたある生徒と雑談をしたのです(まあ、だいたい廊下であった生徒と雑談をすることは多いのですが)。何の話題だったのかは、忘れてしまったのですが、「〇〇さん(雑談相手の生徒)は、いつもボクに優しくしてくれるよね。」と何気なく話したのです。するとその生徒は「えー、優しくするのに、理由なんていらんじゃん。いつもそういう気持ちでいるよ。」と返してくれました。

とかく学校にいる大人(多くの先生方、私も含めて)は生徒たちに、「仲間に優しくしよう」というようなことを言っています。仲間に対して親切にするとか、仲良くするとか、そういうことを大前提にしているので、「仲間に優しくする」ということはごく当たり前のこととして考えていたので、〇〇さんの言葉を聞いて、はっとさせられたのです。

その時の雑談相手である〇〇さんは、私との会話で、ちょっと間があったとか、そういうことはなく、即座に反応しての「理由なんてないじゃん」という言葉だったので、これはきっと〇〇さんにとっては普通の感覚、私からすると生き方そのものを反映した言葉なのではないかと感じさせられました。

あらためて現在の人間関係、そしてこれまでの人間関係を振り返ってみました。

例えば家族。いつも一緒にいるから、時にはイラっとすることもあるけれど、何か頼まれたら「仕方ないなあ……」とぶつぶつ言いながらも、お手伝いをすると思うのです。この時の行為が「優しさ」かどうかはわからないけれども、頼まれたら引き受けるということには理由はあまりないように思います。

友だちにたいしても同じことが言えそうです。たまにイラっとすることがあるかもしれないけど、何か頼まれごとをされたら、どうしても外せない用事がない限りは、相手が困っているなら、頼まれごとを引き受けていることが多いと思います。

実は、友だち、家族、周囲のいろいろな人に対して、「優しくする」にはもはや「理由」なんていらんのです。当然見返りなんて求めていません。無償の行為なのです。理由があるとすれば「だって人の役に立ちたい」という理由ことでしょう。〇〇さんの生き方から生まれているこの感覚。あらためて気づかされました。

たすき

## 襷をつなぐ

テレビのニュースでは箱根駅伝の予選会についての報道がありますが、10月14日に第74回(男子)第40回(女子)横須賀市中学校駅伝競走大会が国道16号馬堀海岸区間折り返しコースで開催されました。

当日は早朝6:00過ぎから市内中学校の先生方が馬堀海岸公園に集まり始め、準備が始まりました。

野比中学校では夏休み前に運動部の生徒を中心に選考会を行い、選抜された生徒たちは夏休み期間から練習を積み重ねました。そうした取り組みの結果、男子は総合10位(55分53秒)、女子は総合優勝(44分07秒)という成績を残すことができました。特に女子は11月3日に横浜市金沢区で行われる県大会に横須賀市代表として出場することになりました。

駅伝という競技は、襷(たすき)と一緒にこれまで取り組んできた仲間の想いを運びます。「走る」行為はたった一人で行われる孤独なものですが、襷にいろいろな人の想いが染み込んでいるのです。

あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり